

# 中東情勢の影響を受ける医薬品・医療機器・医療物資等の 安定供給の確保に向けて（令和8年4月2日）

## 需給状況の一斉調査等の実施

- 医薬品・医療機器・医療物資等の安定供給を確保するため、3月16日以降、**業界団体を通じて需給状況の一斉調査を実施**。一斉調査を受けて、**流通の目詰まりが把握された場合は、経済産業省等との連携の下、速やかに対応を検討・実施**。
- あわせて、3月19日から、**医療機関等における需給状況の定点観測を実施**。より精度の高い需給状況の把握のため、今後速やかに、**観測対象となる医療機関を拡大**。
- 流通や取引の状況に影響が及ぶ場合に備えて、**4月2日に、事業者の皆様からの情報を受け付ける相談窓口を厚労省に設置**。

## 経済産業省との連携に基づく供給課題の解決

- これまでの一斉調査を通じて、小児用カテーテル及び滅菌用の酸化エチレンガスについて供給の課題を確認。
- **経済産業省と連携し、関係企業等への働きかけ等を行うことで、小児用カテーテル及び滅菌用の酸化エチレンガスについて、既に石油原料の供給の目処を立てた**。

## 厚労大臣・経産大臣の連携・リーダーシップによる安定供給の確保

- **透析回路、血液の廃液容器、医療用手袋**といった「海外から輸入」しているケースについては、長期的な供給に懸念が生じているとの声もあるが、**直ちに供給が滞ることはない**。
- 3月31日に、**上野厚労大臣と赤澤経産大臣が本部長となる「中東情勢の影響を受ける医薬品・医療機器・医療物資等の確保対策本部」を設置**。
- 長期的な供給への懸念の解消に向けて、**厚労大臣・経産大臣の連携・リーダーシップの下、医薬品・医療機器・医療物資等の安定供給の確保に向けて、万全を期して対応していく**。



第1回「中東情勢の影響を受ける医薬品・医療機器・医療物資等の確保対策本部」に臨む上野厚労大臣・赤澤経産大臣